

函館市福祉のまちづくり条例整備基準適合状況（平成24～26年度）

○条例の対象：施設の新築や出入口、廊下など整備基準に関わる部分の増改築等を行った公共的施設

○届出数：平成24～26年度の各年度において、条例に定める「新築等の届出」があった公共的施設

【届出のあった公共的施設の内訳】

（単位：件）

区分	H24		H25		H26	
	うち全適合施設	うち全適合施設	うち全適合施設	うち全適合施設	うち全適合施設	うち全適合施設
病院・診療所等	9	1	9	2	5	0
集会場・公会堂等	3	0	0	0	2	0
展示場等	0	0	0	0	2	0
物品販売業を営む店舗	26	0	18	0	20	0
ホテル・旅館等	0	0	0	0	1	0
老人福祉施設等	28	2	27	3	24	1
遊技場・体育館等	1	0	1	0	0	0
飲食店	5	0	5	0	10	0
サービス業を営む店舗	7	0	3	0	1	0
自動車車庫	0	0	0	0	1	0
公益上必要な建築物	0	0	0	0	1	0
学校	2	0	1	0	1	0
事務所	5	0	0	0	0	0
共同住宅・寄宿舎等	3	0	0	0	0	0
合計	89	3	64	5	68	1

※ 全適合施設の件数の考え方について～各施設および工事の種別（新築・増築等）に応じた基準適合確認を要する整備対象箇所において全適合となった場合の件数となる。

【整備対象箇所の内訳】

（単位：件、%）

整備対象箇所	整備対象箇所が基準に適合している施設									全項目において基準に適合していない施設			該当箇所がないまたは届出対象外		
	うち全ての項目に適合						うち一部の項目に適合			H24	H25	H26	H24	H25	H26
	H24	H25	H26	H24	H25	H26	H24	H25	H26						
出入口	84(95.5)	63(100.0)	67(100.0)	53(60.2)	36(57.1)	38(56.7)	31(35.2)	27(42.9)	29(43.3)	4(4.5)	0(0.0)	0(0.0)	1	1	1
廊下等	73(89.0)	58(95.1)	62(96.9)	24(29.3)	25(41.0)	6(9.4)	49(59.8)	33(54.1)	56(87.5)	9(11.0)	3(4.9)	2(3.1)	7	3	4
階段	33(97.1)	32(100.0)	24(100.0)	3(8.8)	4(12.5)	7(29.2)	30(88.2)	28(87.5)	17(70.8)	1(2.9)	0(0.0)	0(0.0)	55	32	44
エレベーター	6(100.0)	9(100.0)	10(100.0)	3(50.0)	3(33.3)	1(10.0)	3(50.0)	6(66.7)	9(90.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	83	55	58
便所	57(71.3)	57(100.0)	55(90.2)	28(35.0)	27(47.4)	29(47.5)	29(36.3)	30(52.6)	26(42.6)	23(28.8)	0(0.0)	6(9.8)	9	7	7
駐車場	25(37.9)	14(30.4)	28(59.6)	18(27.3)	9(19.6)	22(46.8)	7(10.6)	5(10.9)	6(12.8)	41(62.1)	32(69.6)	19(40.4)	23	18	21
敷地内通路	75(97.4)	57(95.0)	61(98.4)	5(6.5)	4(6.7)	6(9.7)	70(90.9)	53(88.3)	55(88.7)	2(2.6)	3(5.0)	1(1.6)	12	4	6
洗面所	47(77.0)	45(84.9)	49(83.1)	33(54.1)	28(52.8)	25(42.4)	14(23.0)	17(32.1)	24(40.7)	14(23.0)	8(15.1)	10(16.9)	28	11	9
浴室等	22(100.0)	21(100.0)	17(100.0)	18(81.8)	13(61.9)	10(58.8)	4(18.2)	8(38.1)	7(41.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	67	43	51
シャワー室等	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(100.0)	89	62	67
観覧席等	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	89	64	68
公衆電話所	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	89	64	67
カウンター	9(17.0)	14(35.0)	9(28.1)	9(17.0)	14(35.0)	9(28.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	44(83.0)	26(65.0)	23(71.9)	36	24	36
案内標示	11(22.0)	7(22.6)	11(36.7)	11(22.0)	7(22.6)	11(36.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	39(78.0)	24(77.4)	19(63.3)	39	33	38
改札口	9(100.0)	24(100.0)	12(100.0)	6(66.7)	19(79.2)	9(75.0)	3(33.3)	5(20.8)	3(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	80	40	56
授乳場所	5(71.4)	3(100.0)	6(85.7)	5(71.4)	3(100.0)	6(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)	0(0.0)	1(14.3)	82	61	61

【26年度の状況と分析】

全ての項目に適合している割合が高い主な整備箇所は、授乳場所（85.7%）、改札口（商店等で代金を支払うレジ通路を含む）（75.0%）であり、全項目において基準に適合していない割合が高いのは、シャワー室等（100.0%）、カウンター（記載台）（71.9%）、案内標示（63.3%）、駐車場（40.4%）となっている。

なお、平成26年度の駐車場の適合率が前2年よりも良好だった理由としては、駐車場スペースが一定程度確保でき、適合する駐車場スペースの確保が可能な比較的規模が大きい物品販売店の割合が高かったためと考えられる。

以上の状況は、例年同じ傾向にあり、特に駐車場、カウンター、案内標示については、全項目において基準に適合していない割合が高い状況になっている。

主な理由として考えられるものとしては、比較的小規模な施設において適合していない割合が高いことから、限られた敷地・建築面積のなかで適合させるためのスペースの確保が困難である場合や、人的対応が可能なため、設置しないと考えられる場合（案内表示版）などがある。